

飛鳥・奈良時代の暮らし 今から約1,400～1,200年前

飛鳥・奈良時代の特徴

- ・律令制の始まり
- ・平城京
- ・古代寺院の建立 (国分寺・国分尼寺など)
- ・貨幣の流通

甲斐国の国分寺・国分尼寺

国分寺跡・国分尼寺跡 (笛吹市一宮町)



国分寺の塔の礎石と基壇

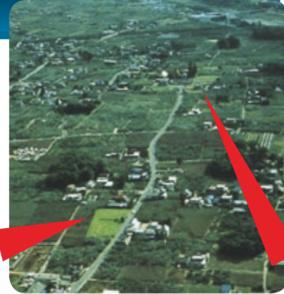


のきまるがわ
軒丸瓦



のきひらがわ
軒平瓦

国分尼寺



国分寺



寺院のイメージ図



鬼瓦



国分寺・国分尼寺出土土器

天平13年(741)、聖武天皇の詔によって、全国に国分寺・国分尼寺が建立されました。現在でも、建物の礎石が良く残っています。

写真は笛吹市教育委員会提供

最古の瓦を焼いた窯跡

天狗沢瓦窯跡 (甲斐市天狗沢)



窯跡の調査風景



出土した瓦

この窯は、瓦や須恵器を焼くために、今から約1,400年前に造られました。しかし、この瓦を使ったお寺は発見されていません。

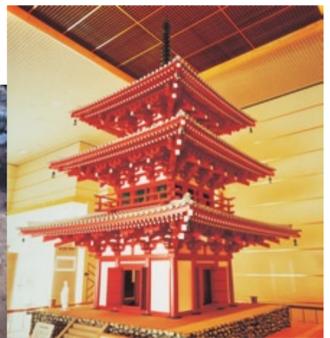
写真は甲斐市教育委員会提供

山梨最古の寺院

寺本古代寺院 (笛吹市春日居町)



塔の心礎



三重塔復元模型

130m四方の伽藍配置(法起寺式)を持つ本格的な寺院です。現在でも塔の礎石が残っています。

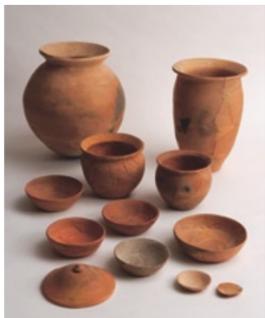
写真は笛吹市教育委員会提供

御勅使川扇状地のムラ

大塚遺跡 (南アルプス市野牛島)



たてあなしきじゅうきよあと
竪穴式住居跡



出土土器

今から1,200～1,100年前のムラです。御勅使川の扇状地にも、奈良時代のムラがつかわれていたことがわかりました。

和同開珎が出土

三ノ側遺跡 (都留市田原)



和同開珎

皇朝十二銭は、本朝十二銭ともいい、古代律令国家が発行した銅銭の総称です。「和同開珎」は、その中の最も古い銭貨です。

写真は都留市教育委員会提供

その他の銅銭

山梨では、その他に「富寿神寶」「隆平永寶」なども発見されています。



隆平永寶

写真は笛吹市教育委員会提供

県内最古の金銅仏が出土

東畑遺跡 (甲府市横根町)



金銅仏出土状況

金銅仏は、銅像の表面に金メッキを施したものです。今から約1,300年前に制作されました。像高9.7cmの大きさです。



金銅仏

写真は甲府市教育委員会提供